

おうちに飲み忘れて余っているおくすり、ありませんか？

もったいない！

くすりのもったいない！をなくしましょう！！

残っている薬とあわせて
処方薬の日数を調節すれば

“お薬のもったいない”を

減らすことができます。

どうすれば
いいの？



残っている薬
(薬の名前が分からないものも可)
を「お薬バッグ」に入れ、お薬手帳と一緒に
医療機関または薬局へお持ち下さい。

薬局では
薬剤師が確認の上
処方医に連絡し
日数を調節します。

お薬はあなたのために処方されているものです。
飲み忘れのないように、きちんと飲みましょう。
どうしても飲み忘れてしまう方、薬剤師にご相談下さい。
きちんと飲むよう薬剤師がお手伝いします！